

(3) 山地帯



1) 環境の特徴

山地帯は、北アルプスの前山と長峰山、光城山等の東山一帯の標高 700～1,600m の地域です。これらの地域は森林で広く覆われていますが、天然林は中房川や烏川の流域等に点在するのみであり、その多くは人の手が加わった植林地を含む二次林です。植林地は針葉樹のスギ、ヒノキ、アカマツ、カラマツが中心ですが、明科では落葉広葉樹のケヤキ林があります。二次林はクリ、コナラ、ミズナラ、クヌギ等の落葉広葉樹林が中心となっています。

山地帯の森林は人の手が定期的に加わることにより、伐採後の草原から森林まで様々な遷移段階の環境が形成され、それぞれの環境に適応した野生生物が生息・生育しています。

2) 環境を指標する種

環境	環境を指標する種
天然林 	植物：イタヤカエデ、ウラジロモミ、ウリハダカエデ、オオカメノキ、コバノトネリコ、シナノザサ、シノブカグマ、トチノキ、ノリウツギ、ヒノキ、ブナ、ミズナラ、ヤマソテツ 動物：ツキノワグマ、ヒメネズミ、コガラ、ゴジュウカラ、コマドリ、オオチャイロハナムグリ、キバネクロバエ、サトウシリブトジョウカイ、トウカイコルリクワガタ、ナカブサツチビロウドムシ

環境	環境を指標する種
<p>落葉広葉樹二次林</p> 	<p>植物：オケラ、カエデ類、カタクリ、ケヤキ、コナラ、シュンラン、ダンコウバイ、ミズナラ、ヤマガシユウ、ヤマブキ、ヤマブドウ、レンゲツツジ</p> <p>動物：アカネズミ、キツネ、ツキノワグマ、ニホンザル、キビタキ、コガラ、コゲラ、アカシナナガゴミムシ、キバネクロバエ、ヒメモンシデムシ、ミヤマクワガタ</p>
<p>アカマツ林（天然林・二次林）</p> 	<p>植物：アカマツ、アキノキリンソウ、アマドコロ、ソヨゴ、ナツハゼ、ネジキ、ネズミサシ、ミヤマママコナ、ヤマウルシ、ヤマツツジ、リョウブ</p> <p>動物：ニホンリス、アカゲラ、オオタカ、ヒガラ、エゾゼミ、チッチゼミ</p>
<p>カラムツ（植林地）</p> 	<p>植物：アケビ、ウワミズザクラ、カラムツ、サワフタギ、シナノザサ、タラノキ、ダンコウバイ、チゴユリ、トリアシショウマ、ミヤマザクラ、ヤマブドウ</p> <p>動物：ニホンリス、コガラ、コゲラ、ヒガラ</p>
<p>スギ・ヒノキ（植林地）</p> 	<p>植物：アブラチャン、イタヤカエデ、コバノトネリコ、スギ、タガネソウ、タラノキ、トチノキ、ヌルデ、ヒノキ、ミズヒキ、ヤクシソウ、ヤマウルシ、ヤマガシユウ、ヤマグワ</p> <p>動物：ニホンリス、ムササビ、キクイタダキ、ヒガラ</p>

3) 代表的な地域

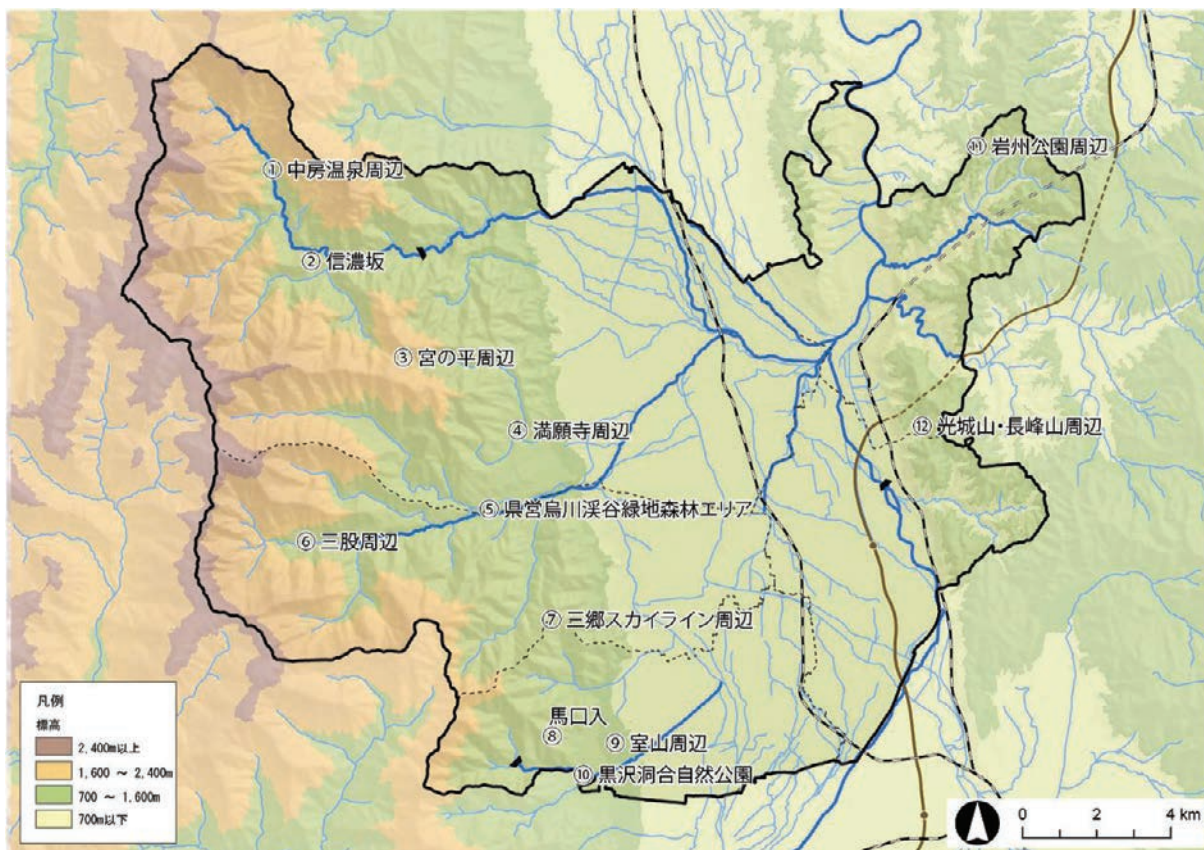


図 5-3 重要な自然環境のみられる代表的な地域（山地帯）

①中房温泉周辺



【地域の特徴】

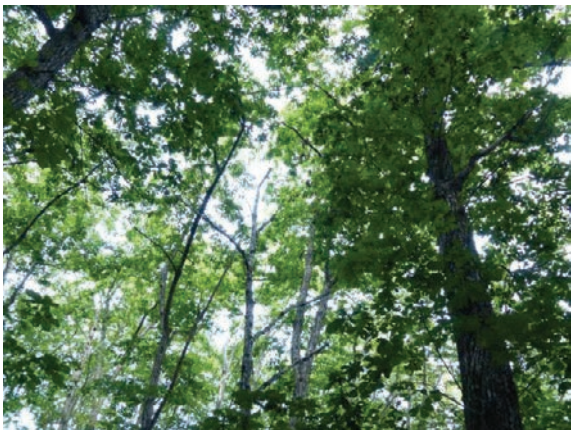
中房温泉には、国の天然記念物の^{こうじょうけいさん}膠状珪酸があります。膠状珪酸とは、好熱性細菌の集合体と細菌の表面に^{せきしゅつ}析出した珪酸とがつくるニカワ状のものを指します。

中房温泉周辺は地熱地帯で地温が高いため、標高約 1,450m にもかかわらず南方系のみずスギが生育しています。またエゾヤナギ、ケシヨウヤナギも確認されています。

【主に生息・生育する野生生物】

植物：エゾヤナギ、カニコウモリ、ケシヨウヤナギ、ベニバナイチヤクソウ、みずスギ
 動物：カモシカ、ニホンザル、ニホンモモンガ、アカゲラ、オオルリ、コマドリ、ヒバカリ、キベリタテハ、クロオオアリ、クロヒカゲ、サトウシリブトジョウカイ、ナカブサツチビロウドムシ、ビロウドヒラタシデムシ、ホソツヤゴモクムシ、ヤマキマダラヒカゲ

②信濃坂



[地域の特徴]

信濃坂は、中房川沿いの標高約 1,200m 付近にあり、発達した落葉広葉樹の二次林がみられます。生育している高木のほとんどがミズナラで、珍しい純林となっています。下層にはシナノザサが優占し、カエデ類、サクラ類等がみられません。

【主に生息・生育する野生生物】

植物：ウワミズザクラ、コハウチワカエデ、シナノザサ、ミズナラ

動物：カモシカ、ツキノワグマ、ニホンザル、エゾムシクイ、コガラ、コマドリ、ルリビタキ、ヒメオオクワガタ、ミヤマヒサゴメツキ

③宮の平周辺



[地域の特徴]

宮の平は、浅川山北方の標高約 1,500m にある平坦地です。バイケイソウ、シシウド等を中心とした湿性植物からなる草原が広がっています。浅川山西側にはカラマツの植林をまぬがれた入会山の面影が残っています。

【主に生息・生育する野生生物】

植物：サンカヨウ、シシウド、タチカメバソウ、バイケイソウ、ハンゴンソウ

動物：キツネ、ウグイス、エゾムシクイ、ハコネサンショウウオ、コヒョウモン

④満願寺周辺



[地域の特徴]

満願寺本堂及びその周辺は、1986年（昭和61年）に長野県の郷土環境保全地域に指定されました。本堂周辺にはスギの大径木が林立しています。また整備されたツツジ園があります。

【主に生息・生育する野生生物】

植物：イタドリ、エンレイソウ、ショウジョウバカマ、スギ、ナガオノキシノブ、ハイイヌガヤ、ヤマハタザオ

動物：カモシカ、テン、ムササビ、ウグイス、オオルリ、キビタキ、クロツグミ、コゲラ、ノジコ、スギタニルリシジミ、ミヤマカラスアゲハ

⑤ 県営烏川溪谷緑地森林エリア



[地域の特徴]

烏川溪谷緑地森林エリアは、標高約 900～1,000m の共有林だった場所を県営の公園として整備したものです。ここには、ヒノキ、カラマツの植林地とコナラ、アカマツ、カエデ類等の二次林が広がり、林床には数多くの植物が生育しています。

【主に生息・生育する野生生物】

植物：アカマツ、カエデ類、カタクリ、カラマツ、コナラ、タチツボスミレ、ヒノキ
動物：アカネズミ、カモシカ、ツキノワグマ、ニホンザル、ムササビ、オオルリ、カワガラス、ノスリ、カブトムシ、シロスジカミキリ

⑥ 三股周辺



[地域の特徴]

蝶ヶ岳の登山口にあたる三股周辺（標高約 1,400m）には、この地域では貴重なブナの天然林が残っています。登山道避難路周辺には、ブナの大径木が多くあります。また、イチイの大木も散見されます。

【主に生息・生育する野生生物】

植物：イチイ、ギンリョウソウ、タニギキョウ、ツルアリドウシ、ブナ、ミズナラ
動物：ツキノワグマ、ニホンザル、カワガラス、キセキレイ、コマドリ、キバネクロバエ、ミヤマクワガタ、ミヤマハンミョウ

⑦ 三郷スカイライン周辺



[地域の特徴]

三郷スカイライン周辺は、東峠（標高約 1,150m）から鍋冠山登山口の冷沢（標高 1,722m）まで標高差が約 600m あり、林道沿いの植生と相まって、昆虫の垂直分布を調べるのに好適な場所となっています。

また、秋季にはワシタカ類の渡りがみられます。

【主に生息・生育する野生生物】

植物：アキノキリンソウ、ウメバチソウ、カラマツ、ススキ、ネジバナ
動物：カモシカ、ニホンザル、サシバ、ノスリ、ハチクマ、アサギマダラ、オオヨツスジハナカミキリ、トノサマバッタ、ミヤマクワガタ

⑧ ^{ばくちり}馬口入



[地域の特徴]

三郷地域の山地は、ほとんどがカラマツ、スギ、ヒノキ等の植林地となっています。その中であって馬口入（標高約 1,200~1,300m）には狭い範囲に、ウラジロモミの天然林、ミズナラやカエデ類等の天然林があり、植林地に比べて豊かな植生があります。

【主に生息・生育する野生生物】

植物：アカマツ、イタヤカエデ、ウラジロモミ、エイザンスミレ、オオヤマフスマ、オクモミジハグマ、カタクリ、カラマツ、シナノキ、ミズナラ

動物：カモシカ、ツキノワグマ、ニホンザル、アオゲラ、カケス、コガラ、ヒメキマダラヒカゲ

⑨ 室山周辺



[地域の特徴]

室山（標高 743m）は、北アルプスの前山から孤立した山地で、植林されたアカマツ、カラマツや、コナラ等の二次林になっています。アカマツ林は下草刈りにより管理されているため、明るい林に生育する植物が多くみられます。

【主に生息・生育する野生生物】

植物：アカマツ、カスミザクラ、カラマツ、コナラ、シュンラン、タチツボスミレ、タムシバ、チゴユリ

動物：アナグマ、キツネ、カワラヒワ、コゲラ、シジュウカラ、アオダイショウ、アイノミドリシジミ、アオカナブン、ナミハンミョウ、ルリボシカミキリ

⑩ ^{どあい}黒沢洞合自然公園



[地域の特徴]

黒沢洞合自然公園（標高約 750m）は、2007 年に開園しました。公園の計画は三郷中学校の当時の生徒達が立案しました。黒沢川沿いに草原や林、池等の環境が整備されています。トンボ類やチョウ類を中心とした昆虫類の貴重な生息地となっています。

【主に生息・生育する野生生物】

植物：アカマツ、アズマイチゲ、アブラチャン、イヌザクラ、ウバユリ

動物：キツネ、ニホンリス、オオルリ、トノサマガエル、カブトムシ、ギンヤンマ

⑪ いわすこうえん 岩州公園周辺



【地域の特徴】

いわすこうえん 岩州公園周辺（標高約 800m）は、礫岩・砂岩の互層が露出し、地表面は崩れやすくなっています。そのため、乾燥地に適した植物が多く生育しています。また、この地域のアカマツ林は、明科では数少ない二次林です。

【主に生息・生育する野生生物】

植物：アカマツ、イヌブナ、オオイワカガミ、カスミザクラ、ネズミサシ、ヒカゲツツジ、ユキグニミツバツツジ、

動物：ニホンリス、エナガ、シジュウカラ、オオヒカゲ、チッチゼミ、ハヤシミドリシジミ

⑫ 光城山・長峰山周辺



【地域の特徴】

光城山（標高 912m）から長峰山（標高 933m）にかけての地域は、アカマツ等の植林地やコナラ、クヌギ等の二次林に覆われており、安曇野市の里山環境を代表する場所です。中でも長峰山の山頂付近に広がる草原は、市内では少なくなった草原性の種が多くみられる貴重な場所となっています。光城山は登山道沿いに見事な桜並木があり、春には多くの人を訪れます。

【主に生息・生育する野生生物】

植物：アキノキリンソウ、ススキ、タムラソウ、マツムシソウ、ヤマツツジ、ユウスゲ、レンゲツツジ、ワレモコウ

動物：キビタキ、シジュウカラ、センダイムシクイ、メジロ、アカセセリ、オオセイボウ、ヒョウモンチョウ